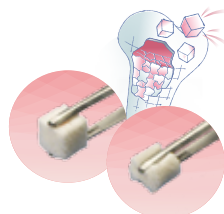
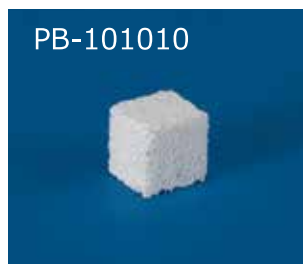




Collagen Hybrid
リフィット®



製品一覧



PB-101010



PB-103020

形 状	品 番	寸 法	包装単位/箱	区分名略称
ブロック	PB-101010	10×10×10 mm	1個 (1.0mL)	人工骨：AB-06-2
	PB-103020	10×30×20 mm	1個 (6.0mL)	

PENTAX

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4

TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711

■札幌オフィス 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1 TEL:011-241-3473 FAX:011-241-3472
 ■仙台オフィス 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 TEL:022-371-6944 FAX:022-371-8924
 ■名古屋オフィス 〒461-0001 名古屋市東区泉1-21-27 TEL:052-955-8572 FAX:052-955-8573
 ■大阪オフィス 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 TEL:06-6263-1679 FAX:06-6263-1686
 ■福岡オフィス 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 TEL:092-281-6860 FAX:092-281-6869

URL www.hoyatechnosurgical.co.jp

ご注文先

益子工場

〒321-4292 栃木県芳賀郡益子町大字塙858

TEL 0285-72-6253 FAX 0285-72-6259



RF104001

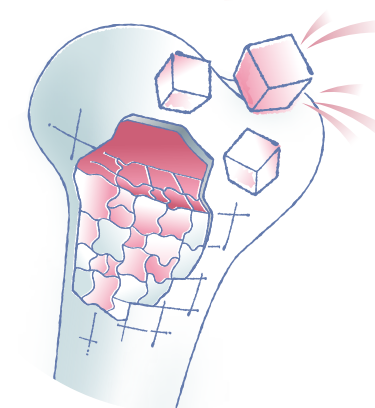
HOYA
TECHNOSURGICAL

医療機器承認番号
22400BZX00222000
滅菌済
単回使用

医療用品 4. 整形用品 高度管理医療機器 コラーゲン使用人工骨

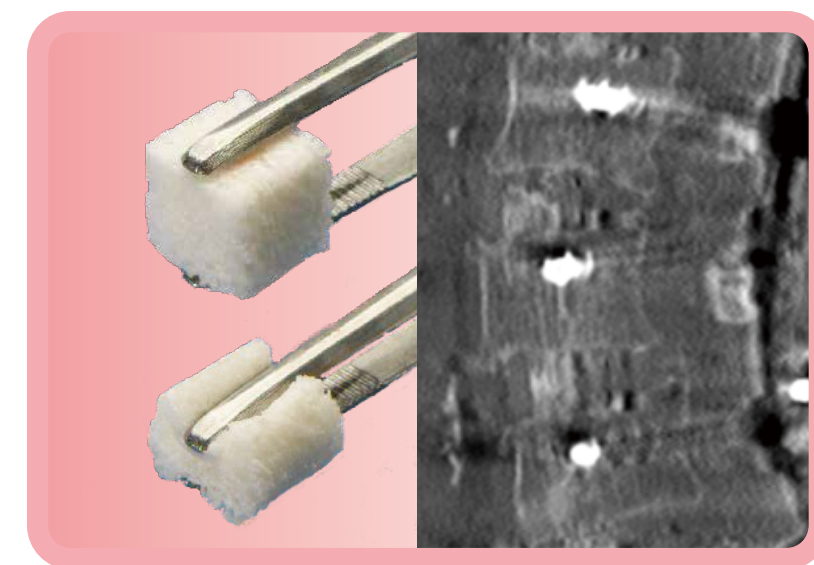


Collagen Hybrid
リフィット®



臨床ケースレポート

資料提供:新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 整形外科
 勝見 敬一 先生 牧野 達夫 先生
 新潟大学 整形外科
 平野 徹 先生 渡辺 慶 先生



症例

腰椎変性後弯症 (70代/女性)

資料提供:
新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 整形外科
勝見 敬一 先生 牧野 達夫 先生
新潟大学 整形外科
平野 徹 先生 渡辺 慶 先生

20年来の腰痛、4年前より姿勢異常が増悪し、立位・歩行困難となった。腰痛VAS 80、Oswestry Disability Index (ODI) 40であった。側方進入椎体間固定術(L1/2/3/4/5)を併用した脊椎矯正固定術(T10-pelvis)を計画した(図1)。我々は、3椎間以上の側方進入椎体間固定術(LIF)のケージ内充填材として、自家骨とリフィット(RF)との混合割合を下記のように設定し、骨癒合を評価している(図2 a. b. c. d.)。なお、後方手術において、LIF施行椎間に骨移植は行っていない。



図1 術前立位X線
SVA 188mm、LL -8°、TK -5°、PI 70°、PT 53°、PI-LL 78°、TPA 60°

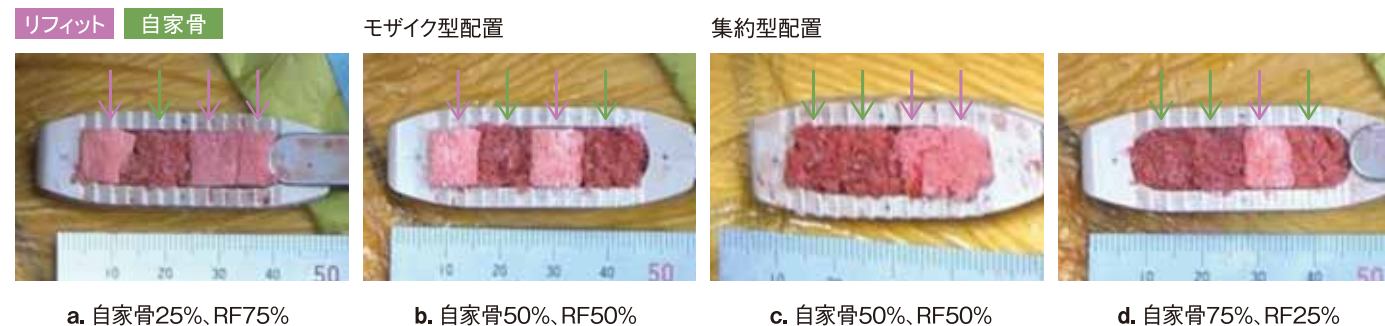


図2 自家骨とリフィット(RF)の充填方法
ケージ内を4分割し、自家骨とRFを1ccずつ充填(=4cc/ケージ)

●自家骨・RF充填方法

- ①腸骨稜上をノミで開窓し、海綿骨・骨髄液を採取。(図3)
- ②5ccのシリンジ内に海綿骨を詰め、1ccずつ切り出して使用する。(図4)
- ③ケージに充填し、骨髄液をRFに浸す。(図5)



図3 図4 図5

●術後2年

SVA 60mmへと矢状面アライメントは改善し、腰痛VAS 28、ODI 18へ軽減している(図6)。術後2年でLIF施行全椎間の骨癒合を確認した。L1/2、L2/3、L3/4では、術後1年で隣接椎体と、ケージ内の自家骨ブロックとの間が骨性に連続し、骨癒合したと考えられた。また、自家骨ブロックに隣接する中央RFブロックのCT値増加を認めており、自家骨への骨置換像と考えた。術後2年で骨性連続性は一段と明瞭化した。L4/5では、術後1年でケージ中央部に間隙を認めたが(※印部)、術後2年で間隙は埋まり、骨癒合したと考えられた(図7)。

●まとめ

腰椎変性後弯症に対してLIFを併用した脊椎矯正固定術を行った。ケージ内充填材としてRFを25%から75%用いたが、術後2年においていずれの椎間でも骨癒合を確認できた。

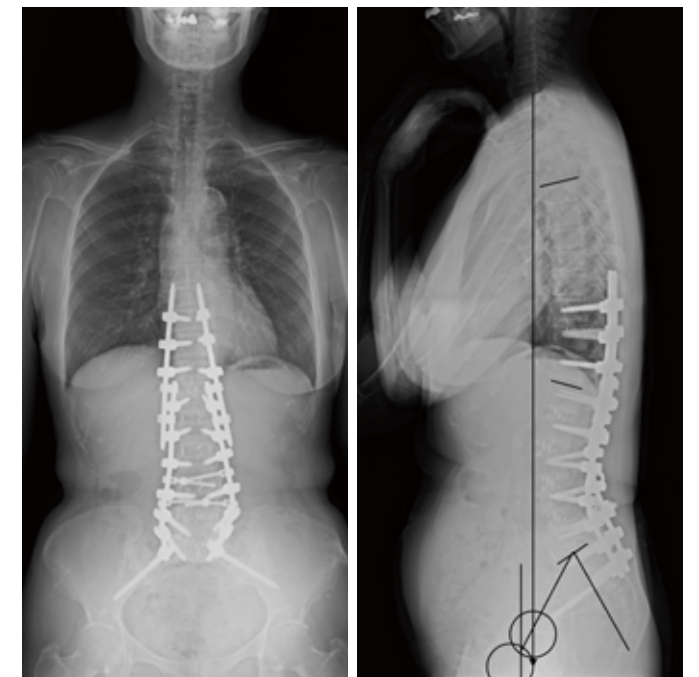


図6 術後2年立位X線
SVA 60mm、LL 48°、TK 21°、PI 65°、PT 27°、PI-LL 17°、TPA 27°

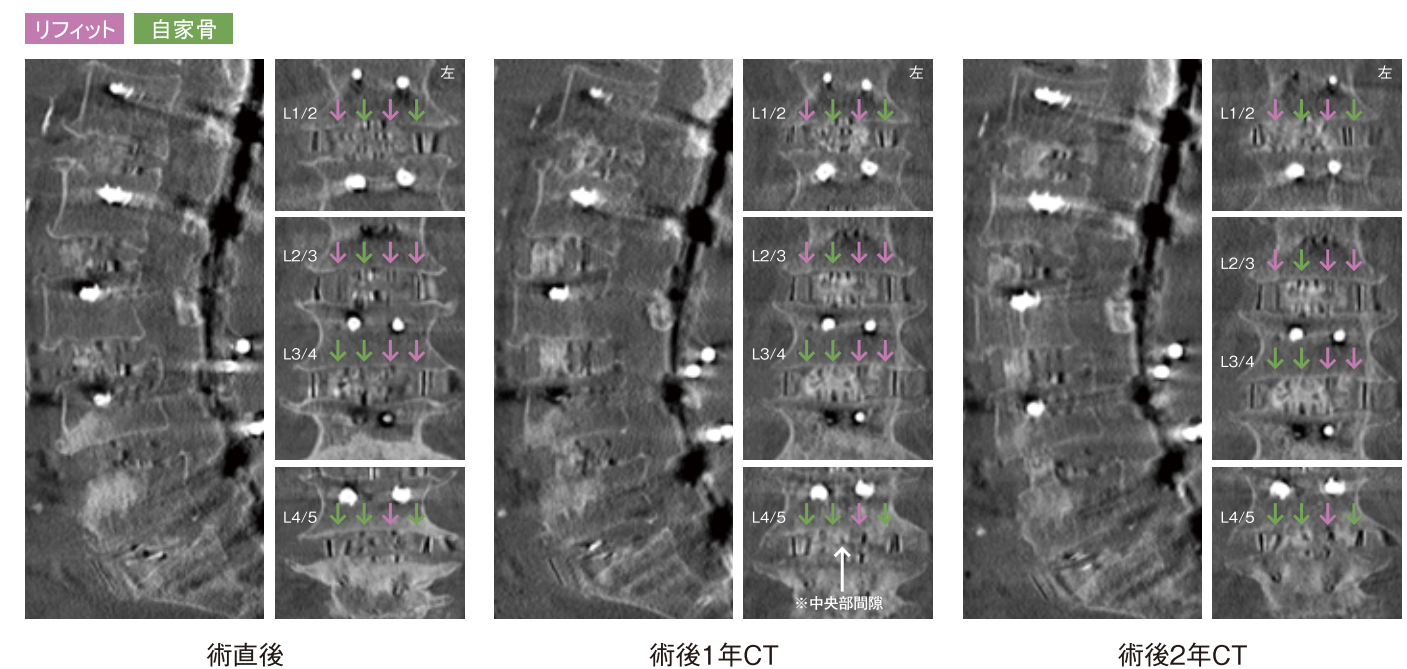


図7 術直後CT
側方椎体間固定を施行した各ケージの充填内容は以下の通り。
L1/2:50%モザイク型配置、L2/3:自家骨25%、L3/4:50%集約型配置、L4/5:自家骨75%